【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成17年5月26日(2005.5.26)

【公開番号】特開2001-269466(P2001-269466A)
【公開日】平成13年10月2日(2001.10.2)
【出願番号】特願2000-86985(P2000-86985)
【国際特許分類第７版】
　Ａ６３Ｆ　7/02
【ＦＩ】
　Ａ６３Ｆ　7/02　３２４Ｂ
　Ａ６３Ｆ　7/02　３０５Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成16年7月23日(2004.7.23)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　中央に開口窓部を有する裏機構盤と、前記裏機構盤の上部に配設され、遊技球を貯留する貯留タンクと、前記開口窓部と前記貯留タンクとの間に配設され、該貯留タンクからの遊技球を整流しながら下流側の排出部へと導く緩やかな下り傾斜の誘導樋と、を備える遊技機において、
　前記裏機構盤は、
　前記開口窓部の上縁部略中央から盤面垂直方向に起立して前記誘導樋の下面を直接支持する係止部を備え、
　前記誘導樋は、
　当該誘導樋の上流側および下流側にそれぞれ設けられるワンタッチ式止め具と、
　当該誘導樋の長手方向略中央部の下面から下方に突出するとともに、前記係止部と係合する突出部と、を有し、
　前記係止部は、
　前記誘導樋の下面に沿うプレート状であって、一対の腕部の先端を連結させて中央穴部が形成され、
　前記裏機構盤に前記誘導樋を取り付ける場合に、前記突出部を前記中央穴部に係合させて前記誘導樋の下面を支持させるとともに、前記誘導樋の上流側および下流側をそれぞれ前記ワンタッチ式止め具で固定することを特徴とする遊技機。
【請求項２】
　前記裏機構盤の開口窓部の上縁部に、当該裏機構盤から盤面垂直方向に起立させた隔壁を備え、
　前記貯留タンクの下部奥方と前記隔壁および前記係止部との間には、前記誘導樋を外した状態で所要の配線を遊技機裏面側から収納可能な収納凹室が設けられることを特徴とする請求項１に記載の遊技機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】

【０００８】
【課題を解決するための手段】
第１の発明は、中央に開口窓部を有する裏機構盤と、前記裏機構盤の上部に配設され、遊技球を貯留する貯留タンクと、前記開口窓部と前記貯留タンクとの間に配設され、該貯留タンクからの遊技球を整流しながら下流側の排出部へと導く緩やかな下り傾斜の誘導樋と、を備える遊技機において、前記裏機構盤は、前記開口窓部の上縁部略中央から盤面垂直方向に起立して前記誘導樋の下面を直接支持する係止部を備え、前記誘導樋は、当該誘導樋の上流側および下流側にそれぞれ設けられるワンタッチ式止め具と、当該誘導樋の長手方向略中央部の下面から下方に突出するとともに、前記係止部と係合する突出部と、を有し、前記係止部は、前記誘導樋の下面に沿うプレート状であって、一対の腕部の先端を連結させて中央穴部が形成され、前記裏機構盤に前記誘導樋を取り付ける場合に、前記突出部を前記中央穴部に係合させて前記誘導樋の下面を支持させるとともに、前記誘導樋の上流側および下流側をそれぞれ前記ワンタッチ式止め具で固定する。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
第２の発明は、第１の発明において、前記裏機構盤の開口窓部の上縁部に、当該裏機構盤から盤面垂直方向に起立させた隔壁を備え、前記貯留タンクの下部奥方と前記隔壁および前記係止部との間には、前記誘導樋を外した状態で所要の配線を遊技機裏面側から収納可能な収納凹室が設けられる。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１３】
【発明の効果】
第１の発明では、誘導樋の長手方向略中央下面の所定の位置に形成した突出部を、裏機構盤の開口窓部の上縁部略中央部位にて裏機構盤から起立させた係止部の中央穴部に係合

させて、誘導樋の下面をその係止部に支持させると、係止部によって突出部の誘導樋長手方向の位置が規制されるので、誘導樋の位置決めが容易である。

【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１４】
　また、誘導樋は、上流側および下流側を支持されると共に、係止部によって長手方向の略中央下面を直接支持されるため、バランス良くしっかりと保持される。

【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１５】
　さらに、係止部がプレート状に形成されるので、誘導樋の下方に余分なスペースを取ることはない。

【手続補正１０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１６】
　したがって、裏機構盤の開口窓部を大きくすることができ、変動表示ゲーム用等の大型の可変表示装置に対応できる。即ち、可変表示装置の後部側が遊技盤の裏面側に突出していても、誘導樋の下方に所定のスペースを確保することが可能であり、大型の可変表示装置を遊技盤に配設することができる。

【手続補正１１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１７】
　第２の発明では、裏機構盤と誘導樋および貯留タンクの下部奥方と開口窓部の隔壁および係止部との間に、配線の収納凹室を形成したので、配線が遊技機裏面側に飛び出たりすることはなく、すっきりとした配線処理を行える。